

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 条 件		
修学基礎教育課程 修学基礎科目 修学基礎		修学基礎 Basic Style for Study III		1	0003-01	2期(後学期)	修学規程第5条別表第2を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 教 育 目 標									
キーワード		学習教育目標							
1	KITポートフォリオ	修学する専門領域を理解し、学習目標の設定と達成のための計画を設計し、自己実現に向かって積極的に行動する態度を身につけることができる。入学後の修学・生活を自省し、以後の修学意欲を高め、キャリアデザインを形成することができる。学習や生活に取り組む態度と方法の重要性を「キャリアポートフォリオ」「修学ポートフォリオ」「達成度自己評価ポートフォリオ」の作成や自己管理と共同の実践を通して認識し、自己実現に向かって、積極的かつ実践的な行動を継続することができる。							
2	修学設計								
3	キャリアデザイン								
4	日本語表現力								
5	個人面談								
授業の概要および学習上の助言									
<p>1. 毎日「1週間の行動履歴」を記録し、KITポートフォリオ(Web上)に入力することによって、自己管理を身につける。2. 教務部長講話によって、学習目標と自学自習の確立の重要性を再認識する。</p> <p>3. 工大祭のときに、自己の所属する学部・学系・学科の研究室を調査し、専攻選択とキャリアデザインを考える。その結果を、個人やグループで討議を行い、グループ発表を行う。学科によっては研究室概要の説明会を開催する場合がある(別途案内)。</p> <p>4. 担当教員独自の多様な自由講義演習を実施する。</p> <p>5. 専門科目での履修条件や進級条件を再度確認し、自己のキャリアデザインに沿って4年間の履修計画を作成する。</p> <p>科目のホームページを必ず見ること。<a href="http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/">http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/</a> レポートは指定されたフォーマットを厳守して作成すること。 出席・提出物の締切を守ることは、特に厳しく評価する。</p>									
【教科書および参考書・リザーブブック】									
教科書：修学基礎2009[金沢工業大学]									
参考書：指定なし									
リザーブブック：指定なし									
履修に必要な予備知識や技能									
<p>1. 「KIT IDEALS」を理解し実践する意志</p> <p>2. 「学生宣言」を理解し実践する意志</p> <p>3. 金沢工業大学「人間力」を身に付ける意志</p> <p>4. 日本語表現力</p> <p>5. レポートの書式設定</p>									
学科教育目標 (記号表記)		学生が達成すべき行動目標							
A,B		1週間の行動履歴を作成し、更に今年度の達成度評価と次年度以降の展望を口頭および文章で報告することができる。							
A,B		講話の内容を整理し、それに対する自己の見解を文章で作成することができる。							
A		グループ討議を通して問題点を見出し、自己の見解を口頭および文章で表現することができる。							
A		研究室を調査し、専攻の動機づけを行い、キャリアデザインや将来の展望を文章で報告することができる。							
A,B		専攻選択やキャリアデザインに沿って、4年間の履修計画を作成することができる。							
A,B		本科目における「学生の達成すべき行動目標」の達成度を自己評価できる。							
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポートフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	50	10	0	24	16	100
総合力 指標	知識を取り込む力	0	0	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	0	20	0	0	0	0	20
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	5	5	0	0	0	10
	発表・表現・伝達する力	0	0	5	5	0	0	0	10
	学習に取り組む姿勢・意欲	0	0	0	0	0	24	16	40

総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

## 評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験		
クイズ 小テスト		
レポート		課題 「小論文A」の訂正 5点                      課題 「小論文コンテスト原稿」 5点 課題 「教務部長講話聴講レポート」 10点      課題 「研究室調査用紙」 10点 課題 「小論文B」の作成 10点                      課題 「4年間の履修計画」 5点
成果発表 (口頭・実技)		課題 「グループ討議メモ用紙」 5点(メモ内容2点、チーム内評価3点) 口頭発表 5点
作品		
ポートフォリオ		「1週間の行動履歴」2点×8回      教室で授業毎に提出
その他		定刻出席 2点×8回      遅刻1点減点(5分まで) 多目的ホールでの授業の遅刻者・欠席者は後日ビデオ視聴

## 具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
「1週間の行動履歴」を記録し、自省することにより、次週への目標を明確に記すことができる。 講話を聴きながら要点を整理し、後に自分の意見と照らし合わせながら講話の内容をまとめることができる。 自分の意見を他者の意見と対比させながら明確に述べ、まとめて述べるすることができる。 自己の専門選択やキャリアデザインを明確に認識し、学習活動につなげることができる。 本科目における学生の達成すべき行動目標を自己評価し、明確に記すことができる。	「1週間の行動履歴」を記録することができる。 講話の内容を箇条書きでまとめることができる。 他者の意見を聞いてまとめることができる。 自己の専門選択やキャリアデザインを認識している。 本科目における学生の達成すべき行動目標を自己評価し、記すことができる。

## 授業明細表

## CLIP学習プロセスについて

一般に、授業あるいは課外での学習では：「知識などを取り込む」「知識などをいろいろな角度から、場合によってはチーム活動として、考え、推論し、創造する」「修得した内容を表現、発表、伝達する」「総合的に評価を受ける、Good Work!」：のようなプロセス（一部あるいは全体）を繰り返し行いながら、応用力のある知識やスキルを身につけていくことが重要です。このような学習プロセスを大事に行動ください。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1・2 回 / /	教務部長講話(佐藤恵一教授) 「後学期からの修学姿勢について」を聴講し、修学への自覚を新たにする。 【持参物】 筆記用具、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック	多目的ホールにおいて特別講義の聴講メモをとる。 講話後、指定教室にて講話の要点をまとめる。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日のビデオ視聴とする。	課題「教務部長講話聴講レポート」(聴講ノート添付)を所定のフォーマットで作成して2回目の講義日に提出する。 「1週間の行動履歴」を作成する。 課題「小論文Aの訂正」 課題「小論文コンテスト原稿」を、オリエンテーション時に返却された添削を参考にして、校正する。(4回目の授業時に提出)	90 30 30 60
3・4 回 / /	研究室調査、キャリアデザインの作成 研究室のホームページや「入学案内」などから、専門選択のための情報を収集整理する。 【持参物】 ノートパソコン、LANケーブル、「研究室調査用紙」を修学基礎ホームページより印刷してくる。	所属教室での講義・演習 【提出物】 課題「小論文Aの訂正」 前週までの「1週間の行動履歴」	課題「研究室調査用紙」を作成する。 「1週間の行動履歴」を作成する。	60 30
5・6 回 / /	専門選択やキャリアデザインに沿って、興味を持った研究室についてグループ討議を行う。 【持参物】 筆記用具	所属教室での講義・演習 【提出物】 課題「研究室調査用紙」 前週までの「1週間の行動履歴」	「1週間の行動履歴」を作成する。	30
7・8 回 / /	修学アドバイザーによる自由講義 (学科によっては研究室説明会を実施する) 【持参物】 修学アドバイザーの指示するもの  工大祭において、研究室紹介の説明を聞き、内容をまとめておく。	所属教室での講義・演習 【提出物】 課題「小論文コンテスト原稿」 課題「小論文B」(6週目に提出) 前週までの「1週間の行動履歴」	研究室紹介の内容をまとめる。 「1週間の行動履歴」を作成する。	60 30
9・ 10回 / /	工大祭での研究室紹介を終えてのグループ討議 工大祭での研究室紹介の内容と自己の事前調査を比較し、将来の専攻分野に対する動機づけを行う。 【持参物】 ノートパソコン、LANケーブル、各研究室の資料、紹介された研究室の配布物	所属教室での演習 次回グループ毎に発表するので、全員で発表原稿や資料の作成など準備をする。 【提出物】 「1週間の行動履歴」を作成する。	研究室紹介発表準備のグループ活動を行うとともに、課題「グループ討議メモ用紙」を作成する。 「1週間の行動履歴」を作成する。	120 60
11・ 12回 / /	研究室紹介を終えてのグループ発表・討論 研究室紹介の発表討論を行い、将来の専攻選択やキャリアデザインに対しての動機づけを行う。 【持参物】 ノートパソコン、LANケーブル	所属教室での演習 ・1グループ10分間(討論を含む) ・パワーポイントを使用 ・評価シートの作成 【提出物】 課題「グループ討議メモ用紙」 課題「小論文B」 前週までの「1週間の行動履歴」	「1週間の行動履歴」を作成する。	30
13・ 14回 / /	次期以降の履修申請について 自己の専門選択やキャリアデザインにそって、履修条件を確認し「4年間の単位修得の流れ」を作成し、各科目の開講期の確認と履修申請の方法について理解を深める。 【持参物】 キャンパスノート、コアガイドブック、金沢工業大学規則集2008	所属教室での演習 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」	課題「4年間の履修計画の流れ」(修学アドバイザーの指示する日時・場所へ提出する) 「1週間の行動履歴」を作成する。	60 30
15・ 16回 / /	自己点検授業と修学基礎 ガイドンス 出席とレポートの提出状況を確認し、各種レポートの返却を受ける。 後学期冬の学習支援計画書を配布し、内容を理解し授業に備える。 【持参物】	所属教室での講義 不合格が予想される学生の個別指導を行う。 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」	「1週間の行動履歴」を作成する。	30

## 授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
	筆記用具、キャンパスノート			